

『さらなる飛躍を』

北部地域住民自治協議会会長 加賀谷 俊雄

KITASKA（キタスカ）が開館して間もなく満2年になる。あっという間の1年10カ月であった。この間、地域活動や学習活動に利用された件数14,218件、利用者人数179,238人にのぼる。この利用者人数には展示ホール来館者は入っていない。展示ホールを訪れ、サークル等での作品を鑑賞した人数は、15,085人となる。

利用者の多寡で、このキタスカを評価する気持ちは毛頭ない。しかし、高齢化がさらに進むこの地において、仲間を求め、知識を求めて集うことの大切さを意識した老若男女の姿を見ると、この施設の大切さを痛感する。

今後さらに多くの地域住民が、気軽に利用できる施設として、大きく飛躍することを職員一同願っている。

コンサート『音の輪』

日 時：平成24年11月11日（日）

午後1時30分～3時

出演者：チェロ奏者 柳田耕治さん

（群馬交響楽団首席チェリスト）

ピアノ伴奏 佐藤 滋さん

（県立金足農業高校教諭）

共 演 グループ風



満員の会場で開演したコンサート『音の輪』は、ピアノ伴奏によるチェロの演奏で幕を開けました。

「となりのトトロ」、「上を向いて歩こう」、「天城越え」、「栄冠は君に輝く」等、誰もが耳にしたことのある曲を中心とした全14曲の演奏に、会場を埋めたみなさんは、歌を口ずさみながら聴き入っていました。

また、後半に行われた『グループ風』による朗読では、「くもの糸」、「ぶたばあちゃん」、「いのちのふね」を、チェロの調べにのせて語られました。まるで物語の中へ引き込まれるような表現豊かな朗読に酔いしれていました。

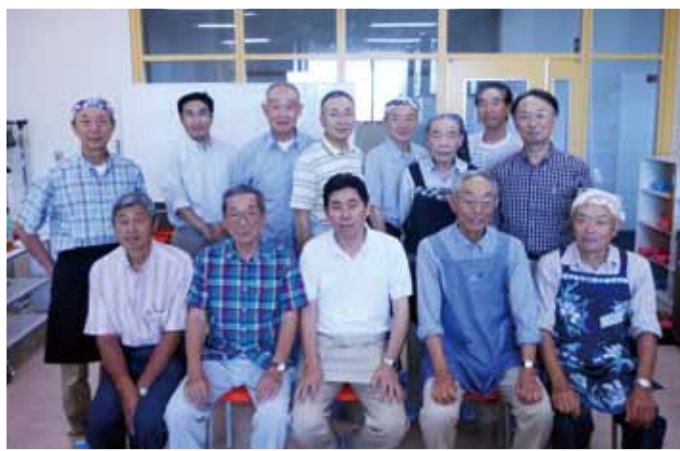
男の料理教室

北部地域住民自治協議会 自主事業

北部地域住民自治協議会の自主事業として、講師に元NPO法人地域資源ネットワークの木村省吾氏をお迎えし、5月から10月までの第4土曜日（計6回）に男性を対象とした料理教室を開催しました。

料理教室は魚料理をメインとし、出刃包丁の基本的な使い方や食材の下処理の仕方、旬の食材や味付けの基本と手順、メニューの組み合わせ等について詳しく学びました。

なお、この事業は、11月から『男の料理サークル』として現在活動しております。



《講師の木村氏(前列中央)と参加された12名の皆さん》



◆ サンマの刺身づくり ◆

慎重な手つきでサンマの三枚おろしに挑戦していきます！



◆ カレイの唐揚げづくり ◆

カレイを観音開きにして、骨まで食べられる唐揚げを作ります。

たとえば

9月のメニューと

ポイント



- 鯛めし
(魚の下処理の仕方)
- ブリの照り焼き
(下味のつけ方)
- サンマの刺身
(三枚おろし、下処理)
- 茶碗蒸し
(具材の下味のつけ方)
- アサリの味噌汁

アサリの味噌汁

サンマの刺身

ブリの照り焼き

茶碗蒸し

鯛めし

～北部8地区歴史探索～

シリーズ第2回 金足地区



〈旧奈良家住宅（県立博物館分館）〉

— 石川理紀之助の しそう 詞藻を生んだ金足 —

秋田県立博物館 菅江真澄資料センター 学芸主事

松山 修

金足の大地主・奈良家の住宅は、現在、県立博物館の分館となっている。そこに菅江真澄（1754?～1829）が来たことは、日記『軒の山吹』が記すところである。文化8年（1811）5月12日というから、今の暦ではもう梅雨の時期。初めて出会った藩の儒学者らと、男潟を臨む奈良家の分家に場所を移して雨上がりの勝景を楽しんだ。そこが石川理紀之助（1845～1915）の生家である。

理紀之助は、その後奈良家に宿ることになった真澄について、祖父・喜一郎から聞きながら育った。喜一郎自身、文芸を愛した人物であった。農業指導者として名高い理紀之助は、生涯に20万首とも数えられる歌を詠った歌人でもある。歌の結社を自ら主宰するなど、彼の日記『克己』を読むと生活の中心に歌があったことがわかる。

理紀之助が初めて詠んだ歌は、真澄の墓参をした11歳の時の「なき人に慕ふ心や通ひけんおもはず今日の時に逢ふとは」で、墓碑を見るとちょうど真澄の祥月命日であった。理紀之助の早熟な歌心と、真澄との深いえにし縁を知ることができるエピソードである。

理紀之助の農業指導は、自らが実践しながら改善を図っていくものである。その労苦多い生活を支えたのは、歌を愛する気高い心だったのだろう。歌が単なる技芸ではなく、生活を支える心髄ともなったのだ。それは、生涯に亘って異郷の地を旅することになった真澄にも言えることだ。真澄の歌の精神が、理紀之助にも影響を与えたことになる。

真澄と理紀之助。二人の偉人が世代を越えて金足で出会い、理紀之助の豊かな詞藻を生んだ。もっと眼も耳も心も澄ませてみたならば、歌とは言わないまでも、心豊かな生活になるだろうかと、博物館の窓に区切られた杉林を見ながら時折思う。

※詞藻（しそう） 詩歌や文章のこと



〈「石川理紀之介翁誕生之地」碑
（金足小泉）〉



〈男潟、冬鳥の飛来（2010.10撮影）〉



〈真澄が描いた金足の春の風景
（『軒の山吹』、県立博物館写本）〉

サークル紹介

油絵サークル 代表 伊東 徹

本サークルのモットーは「油絵の基礎的技能を習得すると共に会員相互の親睦を図る」ことです。

講師は山形八郎先生で、会員は現在16名、毎月第2月曜日の月1回の活動です。

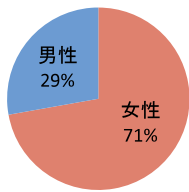
現在、昨年に引き続き、キタスカ展示ホールにおいて第2回サークル展を計画中です。



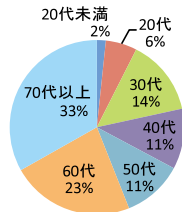
アンケート結果

平成25年2月実施 回答者数238

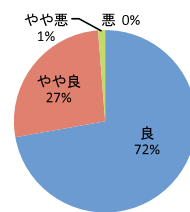
問1. 性別



問2. 年代別

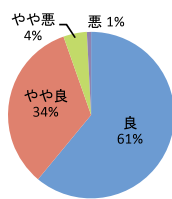


問3. キタスカの全体的印象

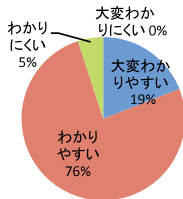


問4. 利用受付対応

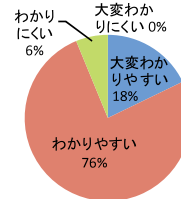
《1》挨拶、身だしなみ



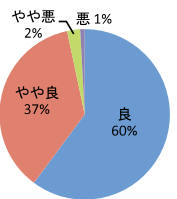
《2》利用に関する説明



《3》申請書の記載

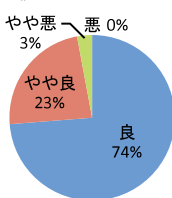


《4》応対

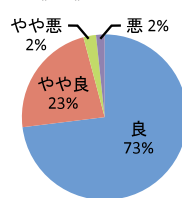


問5. 貸出施設について

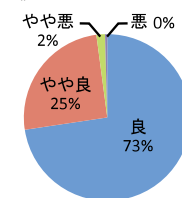
《1》部屋(体育館)の使い勝手



《2》備品

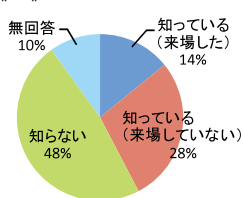


《3》申請書の記載

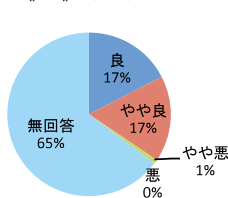


問6. 協議会自主事業について

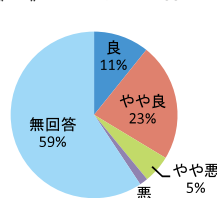
《1》知っていたか



《2》内容

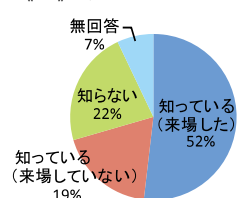


《3》PR、広報

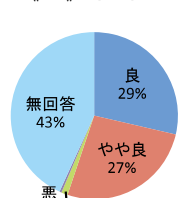


問7. キタスカまつりについて

《1》知っていたか



《2》内容



～ 其他のご意見・要望から～

- ・ 体育館のカーテンを開閉するヒモの位置が高すぎて大変。
- ・ 3階の非常口表示板が廊下窓側に設置されていて解りづらいため、立体的にしてほしい。
- ・ キタスカまつりの作品展示会場が大きすぎて、作品が少なく見え残念だった。

* 皆様からの貴重なご意見・ご協力ありがとうございました。
今後の運営の参考にさせていただきます。

★展示ホールをご利用ください★

～展示ホールの利用について～

1. 募集 個人・団体は問いません
(商品の紹介や、販売等営利目的での利用はできません)
2. 展示物 絵画、書、彫刻、手芸品等
3. 展示期間 最長1カ月
4. 使用料 無料
5. 予約 6カ月前受付



※詳細は下記までお問い合わせください

北部市民サービスセンター内
北部地域住民自治協議会事務局
TEL 018-846-1133